

H28年度 学校だより 6月号
花文樹
 ～満開の笑顔と夢～

は 働かせよう 心 頭 体
 な 仲間と ともに
 さ 最高の自分を めざして
 く 苦しいことにも 進んで挑戦する
 き 今日、この今を せいっぱい

あらためて「広島」へ行くことの意味を問うこと ～修学旅行から始まる「平和と戦争の学習」を考える～

毎年、本校の6年生は修学旅行で広島方面に出かけています。

広島市へは、毎年全国から小学生が約15万人、中学生が9万人、高校生が7万人訪れています。その旅の目的は、「71年前に投下された原子爆弾によって壊滅的な被害を受け、多くの人命と財産が失われた広島を訪れ、75年間草木も生えないといわれた廃墟の中からめざましい復興を遂げた現在の様子を見つめることを通して、戦争の悲惨さと恒久平和の大切さを実感すること」でほぼ共通しています。

本校においても、この旅の目的達成のために、広島平和公園で被爆者の方からお話を聞き、折り鶴を捧げ、広島平和祈念資料館の見学に行ってきました。この旅は、平和学習の終わりではなく、生涯にわたって「戦争と平和」について考えていくための始まりに位置づくものです。



終戦から71年という年月が経過しました。当時小学校6年生（当時は国民学校）だった少年少女たちも、現在すでにみなさん80歳を超えていらっしゃいます。オバマ米大統領が広島平和公園を訪れ、そのスピーチの中で「いつの日か、証言する被爆者の声が私たちのもとに届かなくなるでしょう。しかし、1945年8月6日の朝の記憶を決して薄れさせてはなりません。」と語りかけました。戦争体験の継承が課題になっているのです。

また、この荘原（斐川）には、広島方面へ勤労奉仕へ出かけられた経験をおもちの方もたくさんいらっしゃいます。さらに、海軍大社基地飛行場（出西飛行場）が、昭和20年6月に完成し、陸上攻撃機「銀河」や人間爆弾「桜花」が配備されたり、同年7月28日には空襲を受けたりと、戦場であったことを物語る証拠が今も残っています。

そこで今年は、修学旅行実施後の6月10日に、荘原町にお住いの池橋達雄さん（84歳）から「荘原に戦争があったころのお話」を聞く機会を設けました。さらに、6月30日には、新川鉄橋に今も残る機銃痕や出西飛行場、弾薬倉庫跡等の現地研修も実施することにしています。



戦争は、今の子どもたちにとって時間的に昔のお話になってしまいました。しかし、その戦争が私たちが暮らしているこの荘原にあったことを学ぶことによって、「自分事」としてとらえることができるはずです。

このような願いを込めながら、荘原小学校の平和学習のあり方を考え、これからの学習プログラムを作っていきたいと考えています。

ブログで荘原小の毎日を紹介しています⇒「荘原小ブログ」で検索してみてください

☆☆【今年の「にこにこ遠足」も笑顔いっぱいでした】☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

5月27日（金）、今年度の「にこにこ遠足」を実施しました。

今年も各色ごとにペア学年で手をつなぎ、笑顔いっぱいに荒神谷史跡公園をめざしました。

天気も曇り空で暑さもほどほどのスタート。公園内でのオリエンテーリングも、時間いっぱい楽しみ、色ごとの絆を一層深めることができました。遠足後にはペア学年で、昼休みの時間を使ってペア遊びを行いました。

1学期もあと1ヶ月となり、いよいよ10月の運動会を目指すこととなります。

ペア学年の上学年である4～6年生の子どもたちがよくがんばりました。



※【6年生の平和学習が新聞に掲載されました】※※※※※※※※※

今回の学習の様子については、山陰中央新報、島根日日新聞、いずもケーブルからの取材があり、記事や番組となりました。山陰中央新報6月14日（火）掲載の記事から紹介します。

戦時中の地元の様子は

荘原小 体験者招いて授業

出雲

出雲市斐川町神庭の荘原小学校でこのほど、地で広島市の原爆ドームや元に関する戦争の歴史を原爆資料館を訪れ、戦争学ぶ授業があった。同校や平和について学習し6年生49人が郷土史に詳た。一方で、郷土の戦争しい同町荘原の池橋達雄の歴史に触れる機会は少さん(84)から、戦時中なく、戦争をより身近な様子や同町出西に整備された爆撃機の滑走路などもらおうと、同校が戦いの話を聞き、身近に戦争争体験者を招いた授業があった事実を知ると企画した。

(月森かな子)

池橋さん(左)の話真剣に聞く児童

池橋さんは、滑走路の整備作業に自身の母も朝から夕方まで駆り出されていたと説明。家庭より国のために働くことが優先で、母が世話をできずに生後6カ月の妹が亡くなったことを明かし、「また6カ月だったが、妹は生きたかっと思う。71年前のようなことは二度とあってはならない」と、悲惨さを伝えた。

また、大阪市西区の国民学校の児童が自宅近くの寺をほじめ、同町内に疎開していたことも紹介した。

須田葵さん(11)は「戦争について広島や長崎のことしか知らなかった。戦争で何人が犠牲になっただかなどもっと勉強したい」と話した。

※※【旧荘原幼稚園舎解体撤去工事が始まります】※※※※※※※※※

旧荘原幼稚園舎の解体撤去工事が、7月から開始予定です。工事期間中の詳細については、決定次第に別途お知らせいたします。

撤去後更地となった跡地の活用については、9月7日開催の第2回地域学校運営理事会において、市教育委員会担当を交えて協議予定です。本理事会では、跡地利用について、すでに3月4日に教育委員会へ意見を届けています。利用可能な校地が広がる機会です。子どもたちにとっても、地域の方々にとっても安心して利用できる場となるよう協議を進めてまいります。神庭岩船山古墳の歴史的価値については、7月発行「地域学校運営理事会だより」でお知らせしていますので、ご覧ください。



ブログで荘原小の毎日を紹介しています⇒「荘原小ブログ」で検索してみてください